

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 79

2014年7月15日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、西垣正勝先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「第8回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu」に出展します
2. 「静岡大学共同研究希望テーマ説明会」参加お申込み募集案内
3. 静岡大学「GC-TOFMSによる質量分析入門講習会」ご案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

1. 「第8回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu」に出展します

静岡大学との産学連携をご検討の皆さま、ぜひこの機会に静大ブースにお立ち寄りください。コーディネーターがサポートいたします。

日時 2014年7月23日（水）10：00～17：00
7月24日（木）10：00～16：00

会場 アクトシティ浜松 展示イベントホール

静岡大学の出展内容

J-9 静岡大学の研究シーズと大学発ベンチャー企業

詳細 <http://www.hamamatsu-bmf.jp/>

静岡大学の問合せ先 イノベーション社会連携推進機構

TEL 053-478-1713

E-mail [collabo\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:collabo[at]cjr.shizuoka.ac.jp)

2. 「静岡大学 共同研究希望テーマ説明会

—しずだいとつながるシーズを大公開—」参加お申込み募集案内

< http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/inno_event001781.html >

静岡大学の研究者が、実用化を目指した研究シーズをご紹介します。
多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

日時 2014年7月28日（月）13：00～16：50

会場 アクトシティ浜松研修交流センター 62研修交流室

主催 静岡大学イノベーション社会連携推進機構

プログラム

■特別講演：13:05～13:50

「経営革新の着眼点と展開方法～浜松町工場での実践事例を中心に」
田中 宏和（情報学研究科 教授）

■研究シーズ発表：14：00～16：50

1. ウイルスを短時間で検出可能に！！
～磁気微粒子を用いたウイルス検出システムの開発～
永津 雅章（創造科学技術大学院 教授）

2. 電池不要のセンシング？！

～インピーダンス負荷パッシブSAWセンサを用いたセンサシステムの研究～
近藤 淳 (創造科学技術大学院 教授)

3. スマートフォン画面や車窓にも応用可能な透明アンテナ！！
～多機能アンテナの自動設計～
桑原 義彦 (工学研究科 教授)
4. バイクを情報科学する！バイクで情報科学する！
～Bikeinformatics: 二輪車によるセンシング基盤とビッグデータの構築～
木谷 友哉 (情報学研究科 准教授)
5. 光と画像処理に基づくどこでも使える無線通信システム
～並列伝送型無線可視光通信システムの開発～
和田 忠浩 (工学研究科 准教授)
6. ポストIT0新規透明電極材料を探る
～資源量の豊富な黒鉛から高品質なグラフェンの量産化技術の開発～
孔 昌一 (工学研究科 准教授)
7. 生産現場で低コスト・高速・高分解能計測を可能にする！
～低コヒーレンス干渉を利用した高分解能な工業用顕微鏡の開発～
臼杵 深 (工学研究科 准教授)
8. より高精度・低コストなものづくりをめざして
～高精度な材料モデルによる塑性加工シミュレーション～
早川 邦夫 (工学研究科 教授)

お申込/詳細 http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/inno_event001781.html
申込〆切 7月23日 (水)

問合先 静岡大学イノベーション社会連携推進機構
TEL 053-478-1444
FAX 053-478-1711
E-mail [tane8p\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:tane8p@cjr.shizuoka.ac.jp)

3. 静岡大学「GC-TOFMSによる質量分析入門講習会」ご案内
【ガスクロマトグラフ-飛行時間型質量分析計による精密質量測定】

日時 講義 2014年9月9日 (火) 10:20～11:45 (予定)
実習 2014年9月9日 (火) 13:30～16:00 (予定)
会場 講義 静岡大学静岡キャンパス 総合研究棟414
実習 静岡大学静岡キャンパス 総合研究棟106
(静岡県静岡市駿河区大谷836)

内容 GC-TOFMSの基礎 (質量分析の原理と簡単な使用方法) の解説
講師 静岡大学技術部 技術職員 竹本裕之
対象 質量分析法についてある程度の知識を持っている方
参加費 12,000 円 (講義、実習のいずれか、又は両方に参加した場合)
定員 【講義】制限無し 【実習】10名程度
申込締切 2014年9月2日
申込/問合先 静岡大学グリーン科学技術研究所研究支援室分子構造解析部
TEL 054-238-4834
E-mail [tamura.shinobu\[at\]ipc.shizuoka.ac.jp](mailto:tamura.shinobu@ipc.shizuoka.ac.jp)

《 みんなのコラム -73- 》

記：大学院情報学研究科 教授 西垣 正勝

私の研究テーマは、情報セキュリティです。セキュリティと聞くと「暗号」を頭に思い浮かべる方が少なくないと思いますが、実は、（暗号は非常に重要な要素技術ではありますが）暗号だけでは不十分で、暗号等のセキュリティ要素技術をいかに運用するかによってシステム全体のセキュリティ強度は大きく左右されます。システムを安心・安全に稼働させるには、セキュリティ要素技術とセキュリティ運用技術の二人三脚が重要なのです。しかし、それだけで十分でしょうか。システムとは、私達人間をサポートするために作られたものです。そして、システムを悪用しようとするのも、残念ながら、私達人間です。すなわち、システムのセキュリティを考えるにあたって、「人間」という要因を考慮することは不可欠です。このため、私は、セキュリティ要素技術、運用技術、そしてヒューマンファクタの三人四脚によるセキュリティの追及を、自身の研究テーマとして設定しています。

ゲームや漫画などが有するエンターテイメント性をセキュリティに融合する試みが、その一例です。一般的に、セキュリティ技術の適用はユーザの利便性を低下させることとなります。例えば、パスワード認証とは、不正者を締め出すために、正規ユーザにパスワード入力という負担を強いているわけです。正規ユーザと不正者を判別するためには何らかのクレデンシャル情報が必要ですので、正規ユーザにパスワードを入力させる必要のないパスワード認証を実現することは難しいでしょう。このため、ユーザの利便性をなるべく低下させないパスワード入力方式が求められることとなります。セキュリティとエンターテイメント性の融合により、ユーザが楽しんでパスワードを入力することができるようなパスワード認証方式が実現できる可能性があります。

西垣研では、これ以外にも、人間の認知、心理、嗜好、生体情報など、様々なヒューマンファクタを活用して、利便性と安全性が両立したセキュリティ技術の具現化を模索しています。既に今までに、西垣研のアプローチに共感を抱いて下さった企業の皆様と、種々の共同研究を展開させて頂いています。これからも、一歩ずつ地道な努力を重ね、セキュリティという切り口から社会に一つでも多くの貢献を果たすことができればと考えておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

《 編集後記 》

今月11日、静岡大学は、静岡大学アジアブリッジプログラム（ABP-SU）開設を記念して講演会を開催しました。

このプログラムは、文部科学省「平成25年度 国立大学改革強化推進補助金」で選定された事業で、静岡大学では、この事業を推進するため、学内に新たにグローバル改革推進機構を設置しました。

産学官連携を軸に静岡とアジア諸国との懸け橋になる人材育成を目指すこのプログラムでは、特に、理工系の専門性×経営的思考、文系の専門性×理工学的思考を持つ、技術と経営を俯瞰できる中核・中堅人材の育成に取り組んでいきます。

平成27年度は、まず、インドネシア・タイ・ベトナム・インドで優秀な学生を募集し、現地入試を行います。その後、静岡大学と企業で共同運営するグローバル人材育成コースの受講を経て、アジア展開のブリッジ人材として、企業の皆さまの海外展開への貢献も見据えています。

ぜひ、皆さまのご理解ご支援をいただきたくお願いいたします。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・
配信中止のご連絡は、[sangakukoho5\[at\]cjrr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5@cjrr.shizuoka.ac.jp) まで
お願いします。（↑送付の際は[at]を@に変更してください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構

編集：原典子

発行責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1414

URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

Copyright (c) 2008-2014

Organization for Innovation and Social Collaboration,

Shizuoka University. All rights reserved